

# 「学校現場が抱える諸課題と教員養成」 （教員養成・生徒指導・商業教育）

国際文化学部  
日本文化学科  
教授

田中 靖人



## 研究シーズの紹介

2016年12月の中央教育審議会答申をうけて、新たに展開される新学習指導要領の導入にあたり、すべての学校への周知が図られ、学校現場で着々と準備が進められている。

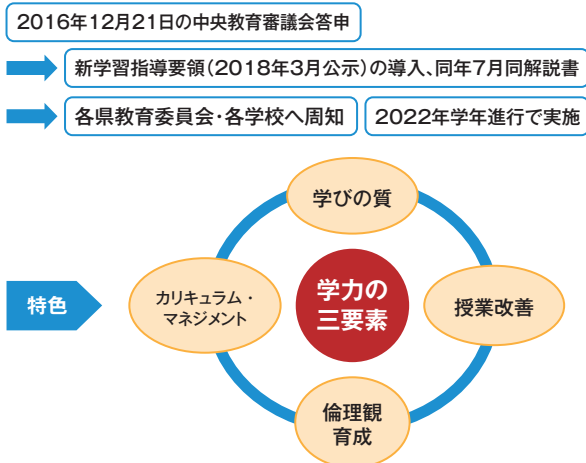
本研究は、今回の同要領の特色である「学力から資質・能力へ」、「学びの質の改善に向けたカリキュラム・マネジメント」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」、「道徳教育重視の観点から倫理観の育成を踏まえた指導」、「学

力の三要素と評価におけるPDCAサイクルの活用」などを生かす教育の在り方を追求するものである。商業教育についても次代に向け、改訂の趣旨と各学校の状況を踏まえた教育内容の充実が求められている。そこで商業高校が抱える現実的な課題を克服しつつ、新たな時代に沿った商業教育となるような具体的方策を展開する。

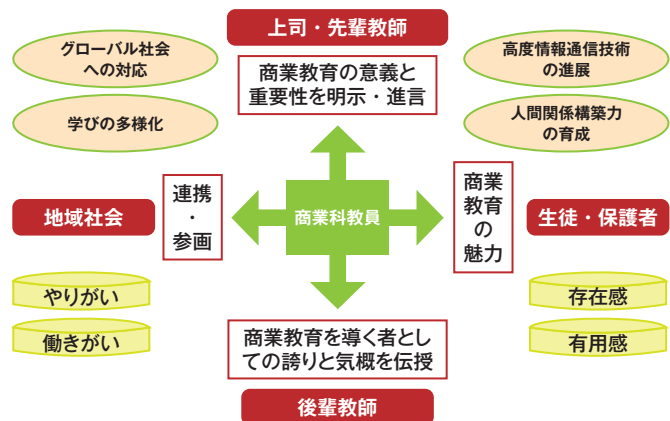


## 実践事例研究 ヒアリング調査

- 学校現場の先進的実践事例を基に情報を広く共有できる。
- 具体的な事例を積み上げることで成功例としての共通項が発見できる。



## 商業科教員としての発信力を生かして



## 期待される活用シーン

● 教員の人間力、実践力及び発信力を高めていくことが、教育の質を担保し生徒の学力を高めることに繋がる。

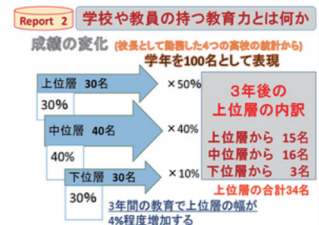


教員の資質能力の向上が学力の三要素を確保する。  
→ 生徒の確実な学力向上が期待できる。

● 倫理観の育成とICT教育の充実が商業教育のモラルと実践力を高める。(例: 新たなビジネス教育構想)



次世代型商業教育を実現し、ビジネス社会において必要な人材を養成できる。  
→ 実力と魅力のある商業人



## その他の研究テーマ

中堅教員の育成プログラムに関する研究  
自己有用感を醸成する生徒指導の在り方に関する研究